
日本経済展望

2017年10月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆トピックス	p. 8
◆見通し	
経済	p. 9
物価、金融政策、金利	p. 10
◆内外市場データ	p. 11

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	安井 洋輔	(Tel: 03-6833-6334	Mail: yasui.yosuke@jri.co.jp)
ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	(Tel: 03-6833-6096	Mail: murase.takuto@jri.co.jp)
企業部門、外需	菊地 秀朗	(Tel: 03-6833-6228	Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp)
家計部門、雇用賃金	小方 尚子	(Tel: 03-6833-0478	Mail: ogata.naoko@jri.co.jp)
トピックス	根本 寛之	(Tel: 03-6833-8913	Mail: nemoto.hiroyuki@jri.co.jp)
ファンダメンタルズ（現状分析）	佐藤 聡一郎	(Tel: 03-6833-6255	Mail: sato.tp28222@jri.co.jp)

本資料は2017年10月2日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

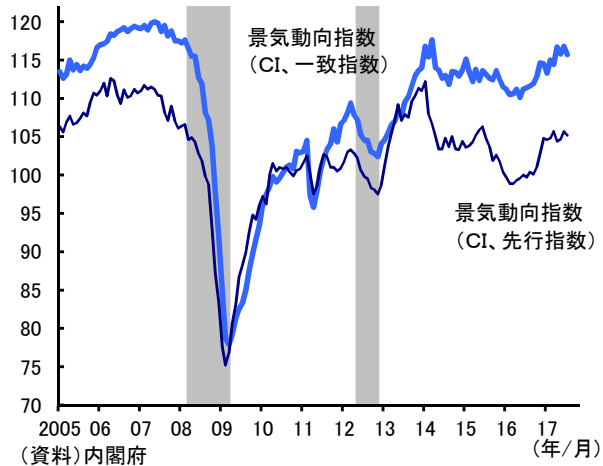
本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

概況：景気は緩やかに持ち直し

景気

生産財の在庫率上昇や住宅着工の減少を受けて、先行指数は3カ月ぶりに低下

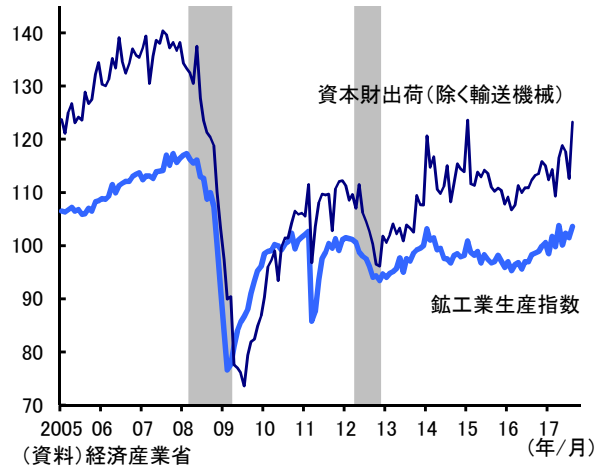
(2010年=100)



企業

生産は振れを伴いながらも増産基調
資本財出荷は3カ月ぶりに増加

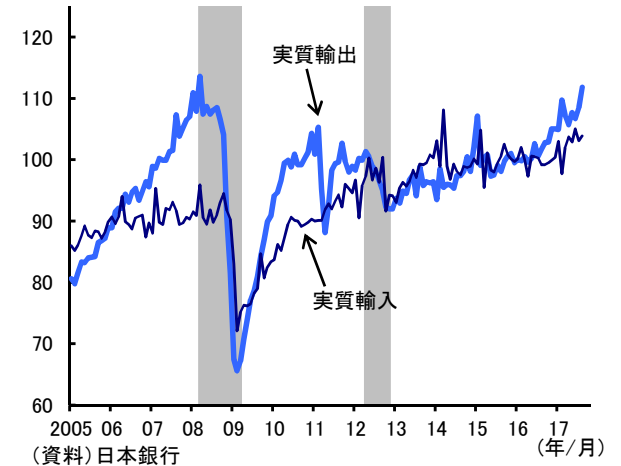
(2010年=100)



外需

輸出は米国向けや中国向けで増加
輸入は2カ月ぶりに増加

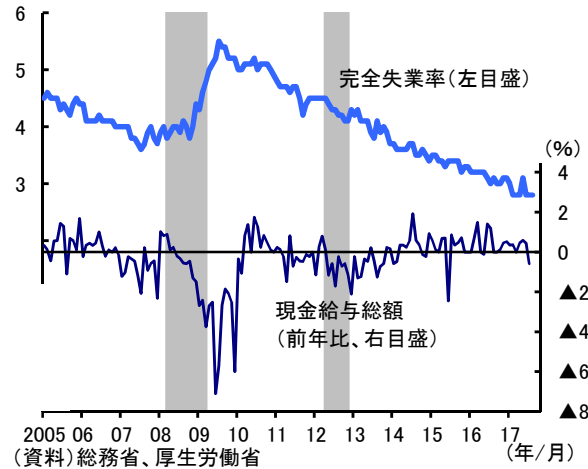
(2015年=100)



雇用所得

失業率は前月比横ばいと低水準で推移
名目賃金は14カ月ぶりに減少

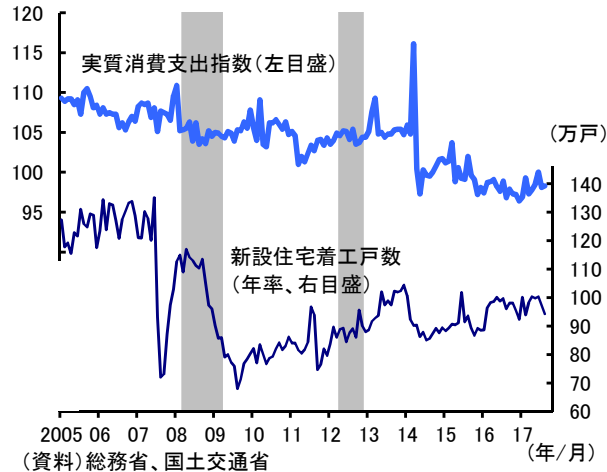
(%)



家計

消費は緩やかな回復基調
住宅着工は持家や貸家が減少

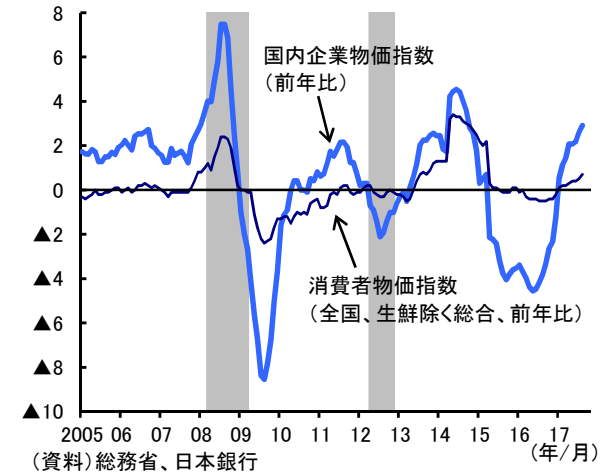
(2015年=100)



物価

原油価格の上昇を受け、国内企業物価、
消費者物価ともに上昇

(%)



※シャドー部は景気後退期

企業活動の持ち直しが続くほか、家計部門でも緩やかな回復基調

◆景気は緩やかに持ち直し

わが国景気は緩やかに回復。8月の鉱工業生産指数は、2ヵ月ぶりに前月比上昇。半導体製造装置などが増加したはん用・生産用・業務用機械工業や、乗用車が内外需ともに好調な輸送用機械工業を中心に、幅広い業種で上昇。在庫指数も、3ヵ月連続で前月比低下。予測指数によると、9月は8月の増産の反動で減産となるものの、10月は増産となる計画で、生産は増加傾向が続く見込み。

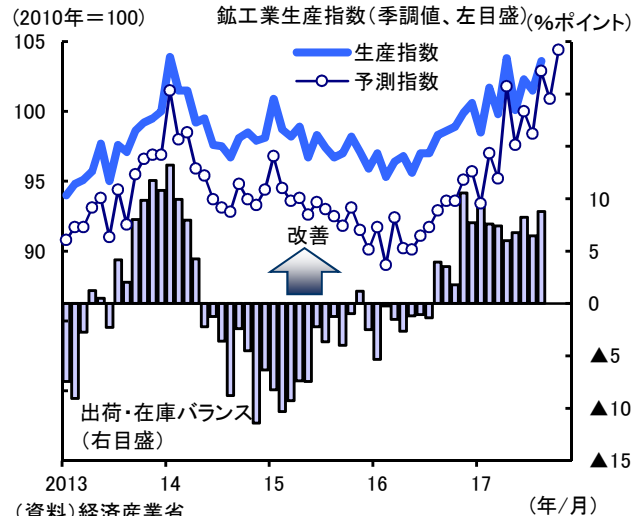
輸出は、2008年3月以来の高水準。米国向けの自動車や自動車部品が増加したほか、スマートフォン需要の拡大で、アジア向けの半導体等電子部品が増加。

◆家計部門は緩やかな回復

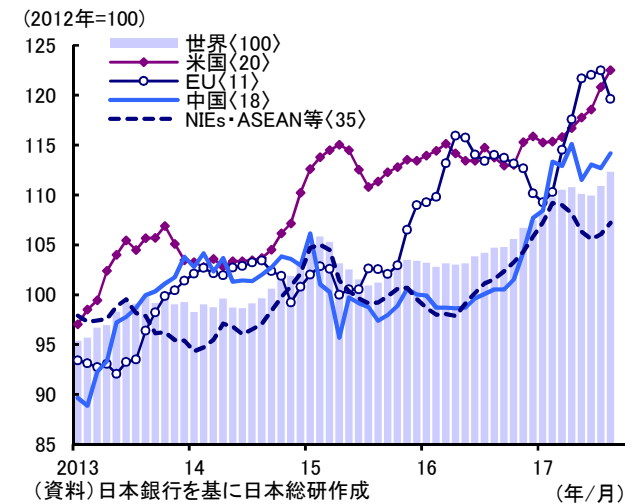
家計部門でも回復の動き。景気回復が続くなか、所定内給与が緩やかな増加にとどまるなど、企業の人手不足を背景に雇用者数の増加が継続。失業率は2.76%と低水準、有効求人倍率も1.52倍と高水準を維持。

こうしたなか、個人消費は緩やかな回復傾向が持続。8月の実質消費支出は、前年比+0.6%と2ヵ月ぶりに増加。

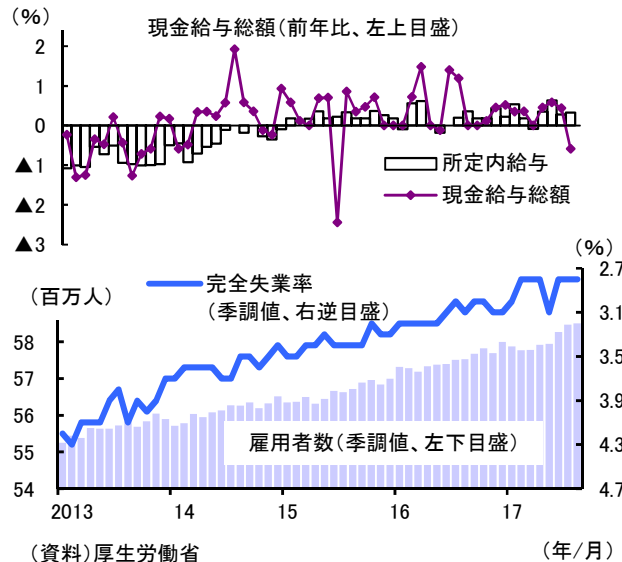
鉱工業生産指数と出荷・在庫バランス



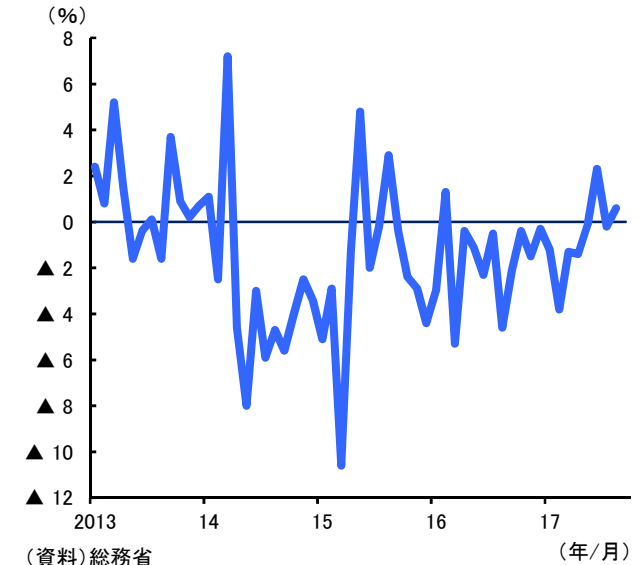
実質輸出(季調値)



雇用・所得関連指標



実質消費支出(前年比)



日銀短観：底堅い内外需を背景に景況感改善

◆業況判断DIが改善

9月の大企業の業況判断DIは、製造業が+22%ポイント（前回調査対比+5%ポイント）と、4四半期連続で改善し、10年ぶりの高水準に。内外での設備投資の持ち直しを受け、素材、機械関連業種で改善。

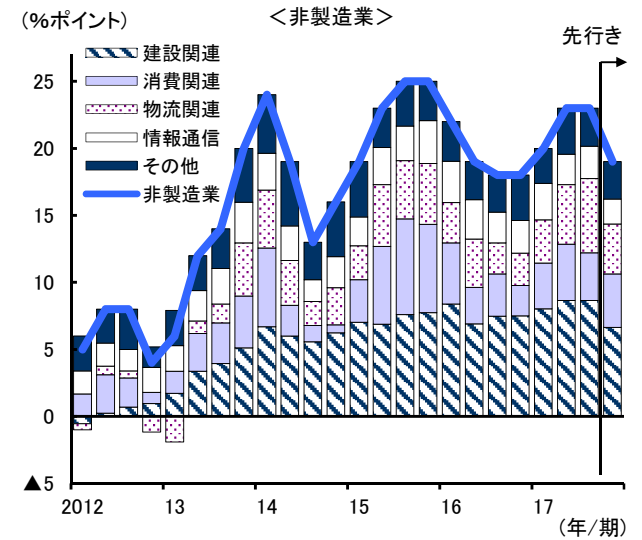
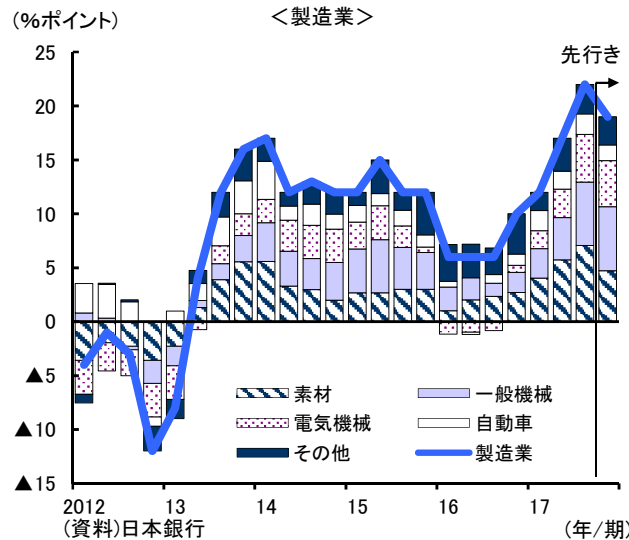
一方、非製造業も+23%ポイントと、前回調査と横ばいながら高水準を維持。都心部での再開発事業などを背景に、建設関連が引き続き堅調なほか、内外需要の持ち直しを受け、卸売が改善。一方、夏場の天候不順などを背景に、消費関連はやや慎重化。

先行きは、底堅い企業収益が下支えに作用するものの、中小企業を中心とする人手不足への懸念や、米国トランプ政権の政策運営や北朝鮮情勢などの不透明感から、慎重化する見込み。

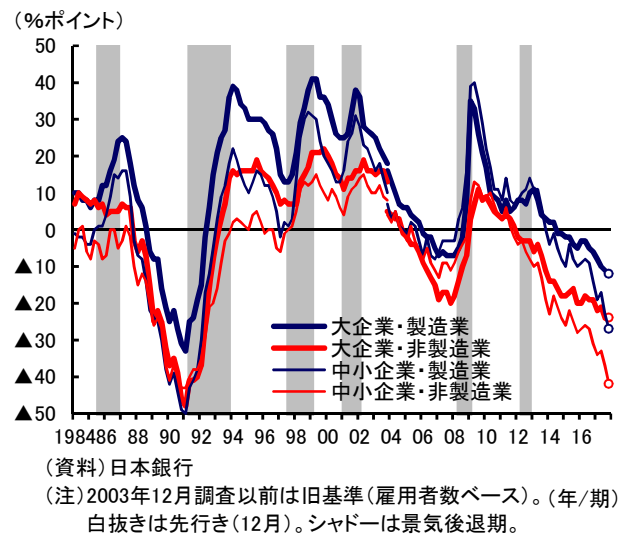
◆設備投資計画はやや慎重

2017年度の設備投資計画は、全規模・全産業で前年度比+4.6%と、前回調査対比+1.7%ポイントの上方修正。もっとも、9月上旬にみられた海外情勢の不透明感の高まりによる円高ドル安などから、大企業・製造業では下方修正。先行きは、海外情勢の行方に左右される面は残るものの、基本的に例年の足取りに沿った推移が続く見通し。

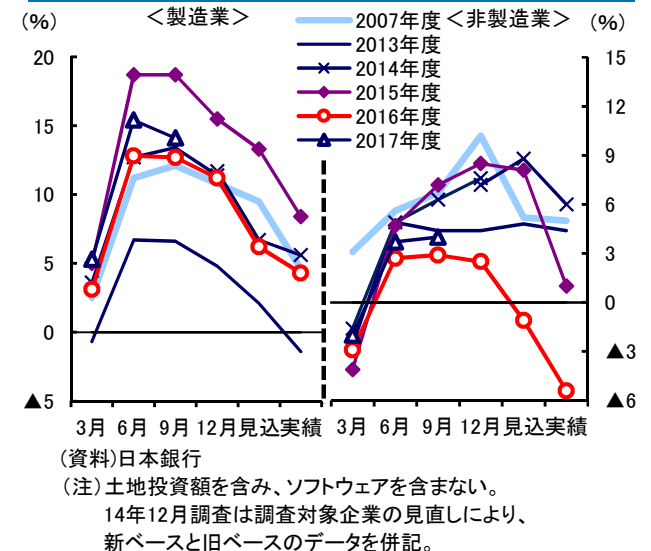
大企業の業況判断DI



雇用人員判断DI



設備投資額の足取り(大企業、前年度比)



輸出は緩やかに持ち直し

◆インバウンド需要が持ち直し

外需動向をみると、まず、インバウンド需要が持ち直し。8月の訪日外客数は247.8万人と、前年比+20.9%の増加。1人当たり消費額も、昨年11月以降の円安に伴い減少幅が縮小。先行きは、アジア新興国の所得拡大の持続、宿泊施設増加など受け入れ環境整備の進展などから、インバウンド需要は引き続き堅調を維持する見込み。

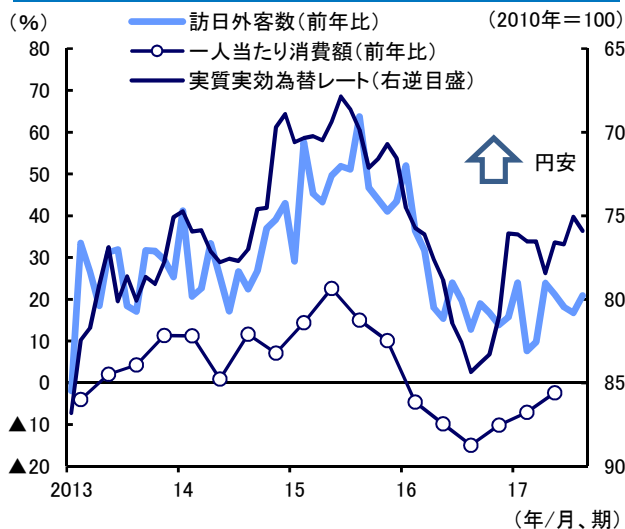
◆財輸出は緩やかに持ち直し

財輸出では、電子部品・デバイス類が再び増加。業界団体（世界半導体市場統計、WSTS）の予測が上方修正されるなど、世界のIT需要が引き続き堅調なことが背景。中長期的にみても、クラウド化、IoT、車載関連の需要拡大にけん引されて、電子部品・デバイス類の輸出は増加基調が続く見込み。

加えて、世界的な設備投資需要の回復が見込まれるなか、資本財輸出も、当分は堅調が続く見込み。

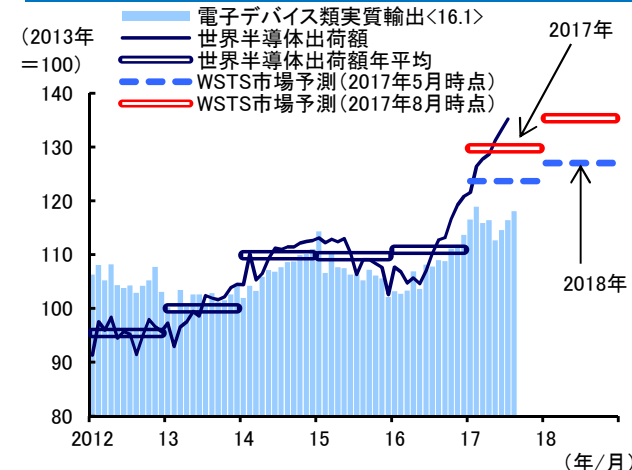
もっとも、製造拠点の海外移管の進展に伴い、海外需要の増加には海外生産で対応するケースが拡大していることから、輸出の増加ペースは緩やかに。米国トランプ政権の政策運営や北朝鮮情勢の不透明感から円高が大きく進めば、輸出が下振れするリスクも排除できず。

訪日外国人旅行消費額と実質実効為替レート



(資料)観光庁、政府観光局、日本銀行

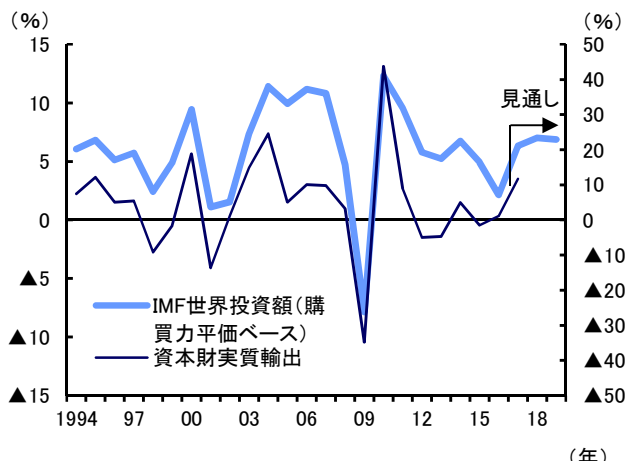
世界半導体出荷額と電子部品デバイス類輸出



(資料)WSTS、財務省、日本銀行を基に日本総研作成

(注)ともに季調値は日本総研作成。凡例<>内は、2016年名目輸出全体(金、再輸出除く、65.1兆円)に占める電子デバイス類のシェア。

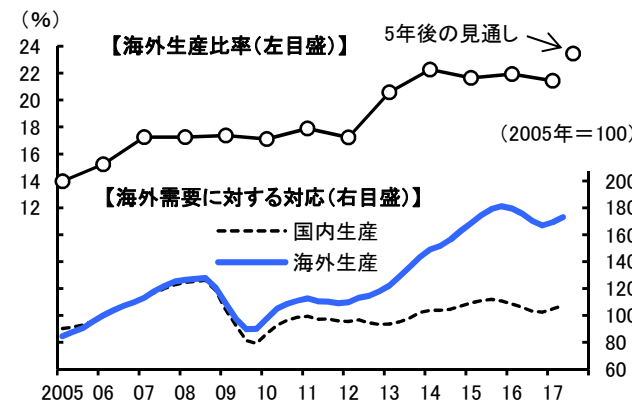
世界投資額と資本財実質輸出(前年比)



(資料)財務省、日本銀行、IMF "World Economic Outlook April 2017" を基に日本総研作成

(注)2017年の資本財実質輸出は、1~8月値。

海外生産比率と海外需要への対応



(資料)内閣府、経済産業省、財務省を基に日本総研作成

(注1)海外生産比率は、年度調査の計数を年度末に図示。

(注2)海外需要に対する対応は、国内生産が名目財輸出、海外生産が海外現地法人の売上高(除く日本向け)。両計数ともに後方4期移動平均。

企業収益が改善するなか、設備投資も持ち直しへ

◆企業収益は改善

企業収益は改善。日銀短観の利益計画をみても、為替相場が企業の想定レートを上回る円安で推移するなか、上方修正基調。

わが国企業の収益改善の背景には、既往の海外進出拡大に伴い、海外子会社からの知的財産権等使用料の受取が増加するなど、わが国企業の海外での「稼ぐ力」の強化も一因。

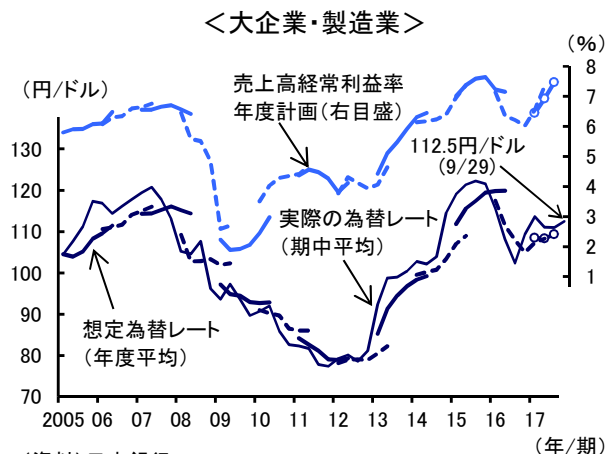
先行きは、北朝鮮情勢の緊迫化による円高急進などがなければ、引き続き改善基調を維持する見込み。

◆設備投資は持ち直しへ

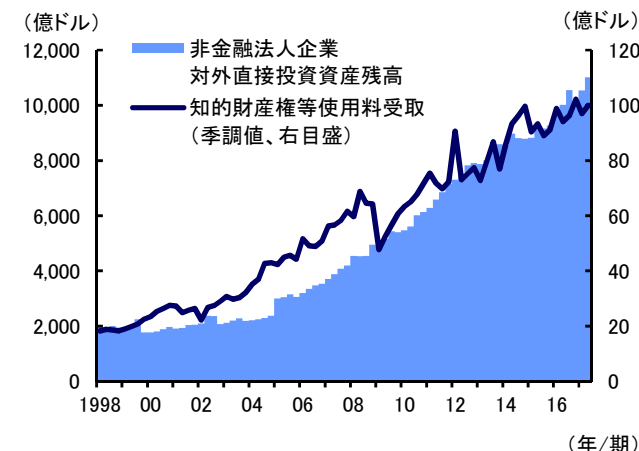
設備投資は、海外情勢に不透明感が残るなか、足元まで企業の慎重さが残る状況。もっとも、先行きは、海外情勢の不透明感の高まりがなければ、キャッシュフローが潤沢ななか、成長分野への対応や、維持・更新、合理化・省力化を中心に、設備投資は持ち直す見通し。

企業が人件費増加に慎重な姿勢を崩さないなか、労働分配率は1991年以来の水準まで低下。もっとも、①人手不足感が一段と強まっていること、②業績改善傾向が続くことを踏まえると、今後は徐々に賃金の伸びも高まっていく見通し。

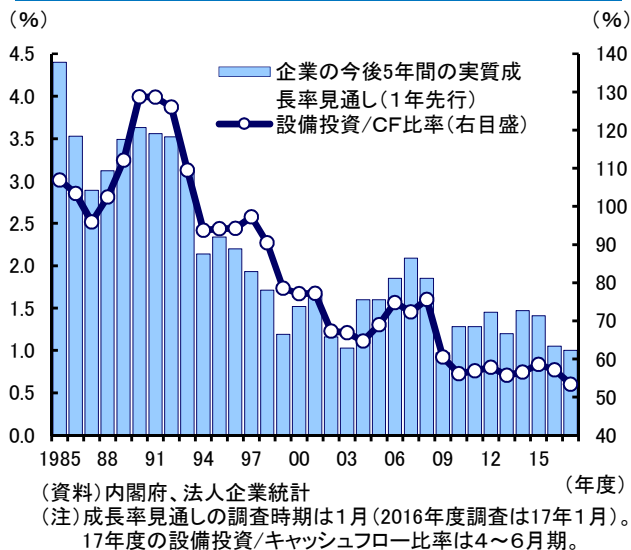
売上高経常利益率計画と想定為替レート



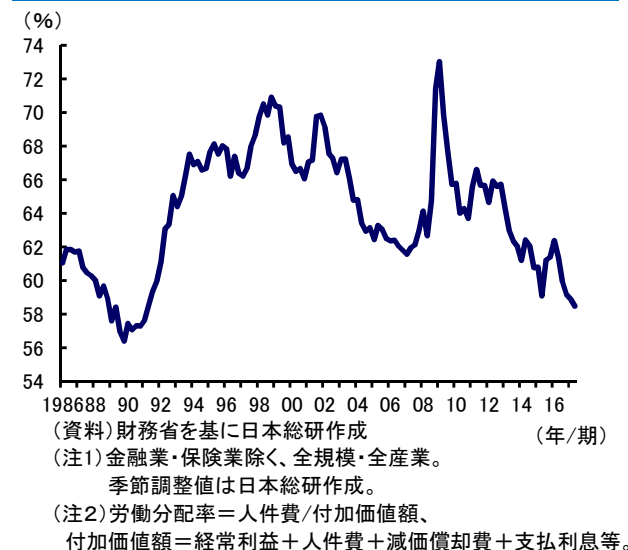
知的財産権等使用料と対外直接投資資産



期待成長率と設備投資/キャッシュフロー比率



労働分配率



所得の回復は緩慢

◆伸び悩む賃金

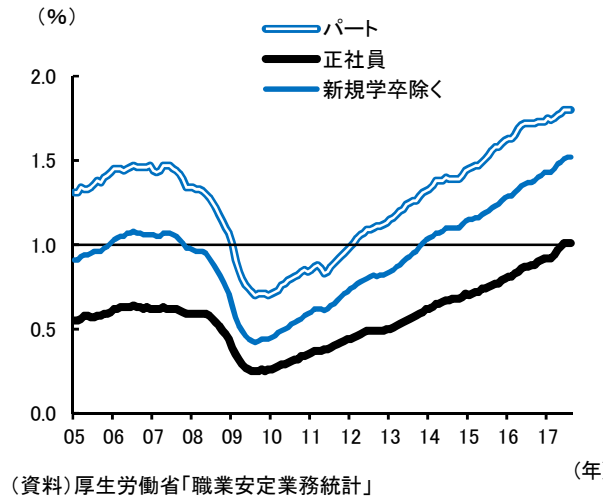
雇用情勢は緩やかな改善傾向。6月以降、改善が遅れていた正社員の有効求人倍率も1倍超え。賃金も、人手不足が特に深刻な運輸業、建設業や、転職者を中心に上昇傾向。もっとも、企業規模別に見ると、賃金引き上げに動いているのは、賃金水準が相対的に低い中小企業を中心。一方、大手企業では、海外経済等の先行き不透明感が意識され、2017年度の春闘賃上げ率は昨年並みにとどまったうえ、夏季賞与は前年比マイナス。業種別にみても、雇用増加の中心は、宿泊飲食サービス、医療福祉、卸・小売など賃金水準が相対的に低い業種となっており、平均賃金は2017年度入り後に伸び悩み。

◆所得の回復は緩慢

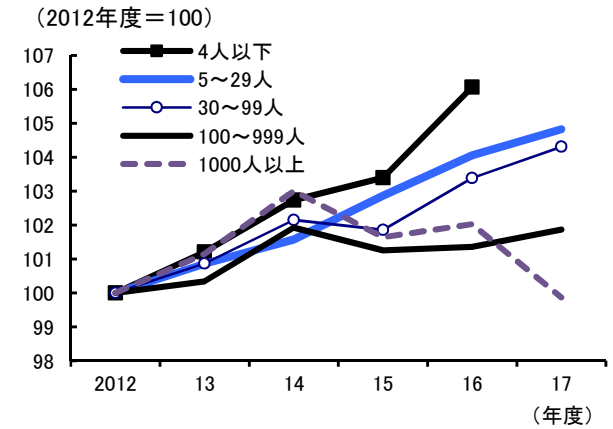
先行きを展望すると、景気の回復基調が維持されるもと、雇用情勢の改善は続く見込み。もっとも、給与の回復ペースは引き続き緩慢。春闘賃上げ率の伸び悩みを背景に、雇用者の所定内給与の改善は年度いっぱいには小幅にとどまる見込み。加えて、エネルギー価格上昇と円安により、消費者物価が前年比プラスに転じたため、家計の実質購買力に対する下押し圧力が高まる見込み。

なお、冬季賞与は、2016年末以降の円安進展による収益押し上げ効果が反映されるため、やや明るさが出てくる見込み。

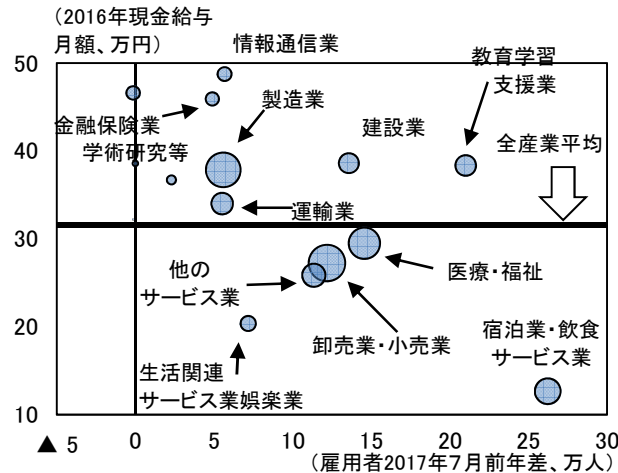
有効求人倍率



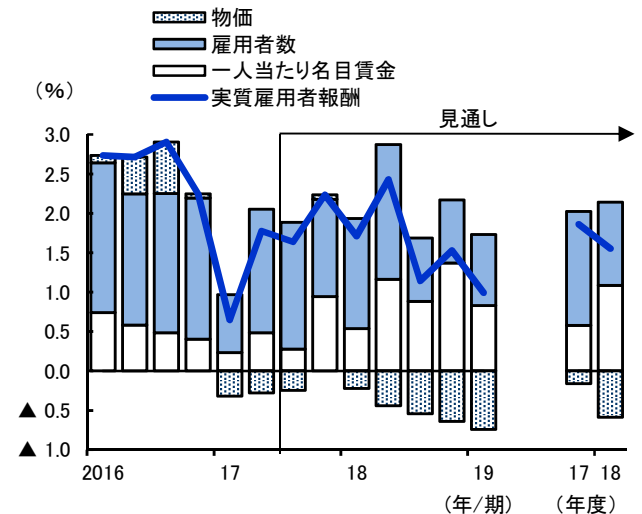
フルタイム労働者の現金給与総額



業種別の賃金水準と雇用増(前年差)



雇用者報酬(前年比)



個人消費は緩やかな回復基調

◆個人消費に持ち直しの動き

個人消費は緩やかな回復傾向。夏場の天候不順が、プール、ビアガーデンなど一部のレジャー消費にはマイナスに作用したものの、百貨店で秋物が売れるなどの動きもあり、総じてみれば、消費の堅調が持続。

とりわけ耐久財は、2009年以降の消費支援策や2014年の消費増税前の駆け込み需要の反動減がようやく一巡し、徐々に買い替え需要が顕在化。

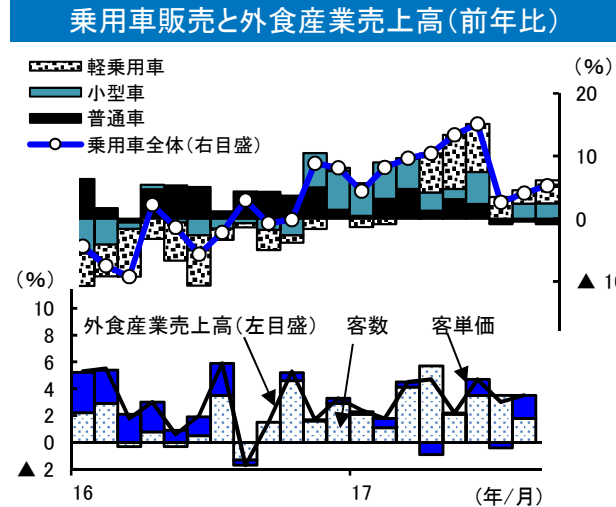
サービス消費も、外食などに回復の動き。背景には、雇用所得環境の改善と、消費者マインドの持ち直し。株価の堅調等が押し上げに作用。

◆引き続き緩慢な消費回復

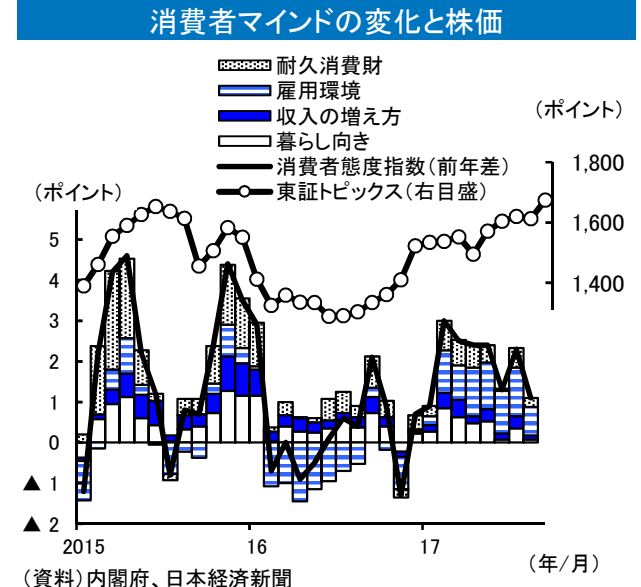
先行きを展望すると、雇用情勢の改善持続が、消費下支えに作用する見込み。

もともと、賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増加が、可処分所得の重石となるうえ、若年層を中心に消費性向の低下が持続。この背景には、消費拡大をけん引するような新商品の不在や、将来不安等を背景とした節約志向。加えて、低金利が続くもとで、住宅購入に動く世帯の割合が高まり、ローン返済負担の増大が消費を下押ししている側面も。

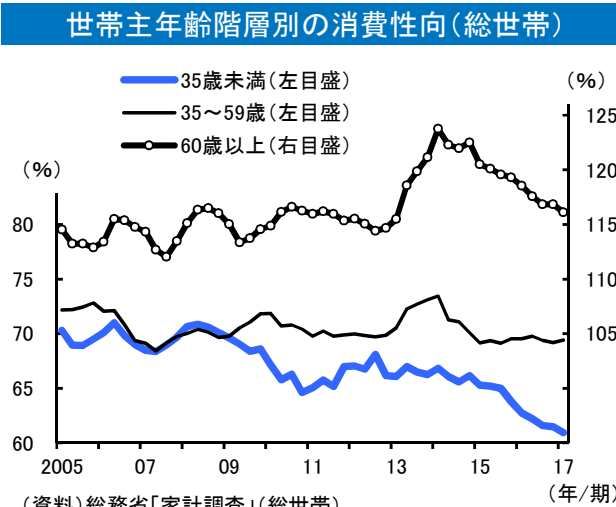
また、消費市場全体の半分近くを占める世帯主60歳以上の世帯では、物価上昇が消費下押しに作用する見込み。こうしたなかで、引き続き個人消費は緩やかな増加にとどまる見通し。



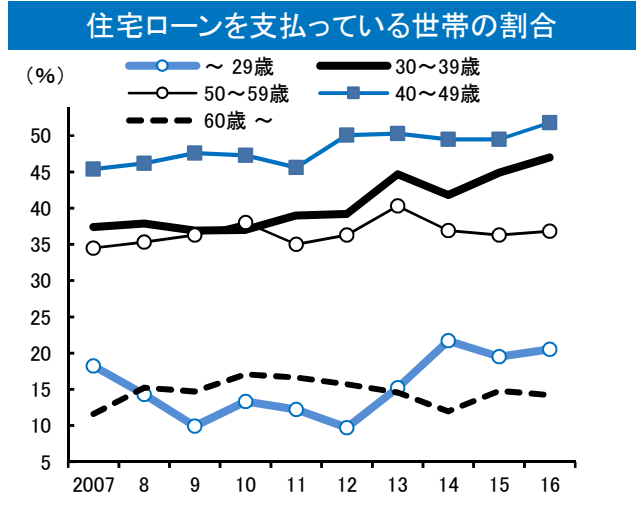
(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本フードサービス協会を基に日本総研作成
(注) 棒グラフは変化の内訳。



(資料) 内閣府、日本経済新聞



(資料) 総務省「家計調査」(総世帯)
(注1) 勤労者世帯。60歳以上は二人以上の無職世帯と勤労者世帯の加重平均。
(注2) 後方4期移動平均。



(資料) 総務省「家計調査」(二人以上の世帯) (年)
(注) 勤労者世帯。

トピックス：拡大が見込まれるテレビの買い替え需要

◆テレビ買い替え需要の拡大

先行きテレビ需要が徐々に拡大する見込み。理由は、2009～11年の家電エコポイント制度や地上デジタル波放送への移行に伴って、駆け込み購入されたテレビがまもなく買い替え期を迎えるため。

もっとも、人口減による潜在需要の減少と買い替え時期の分散化から、前回ほどの需要の盛り上がりは期待できず。

ちなみに、一定の前提のもとで試算すると、テレビ需要は18年ごろから増加し始め、21年ごろにピークに達する見込み。ピーク時の年間出荷台数は約1300万台と足許の3倍弱の水準まで増加するものの、前回ピーク（2010年）の半分程度。

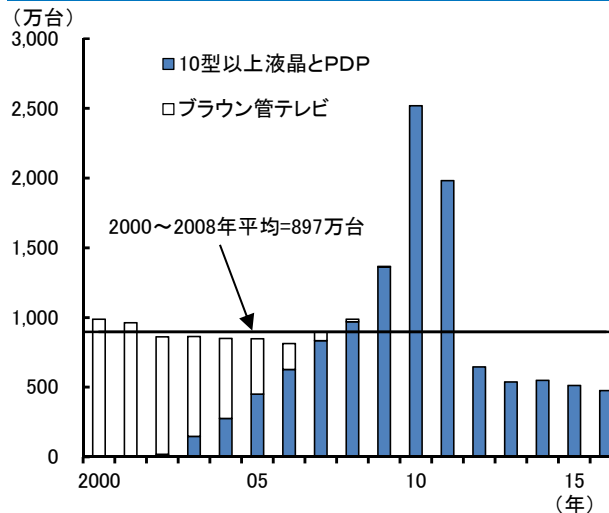
◆景気押し上げ効果は限定的

さらに、テレビの海外生産比率の上昇を背景に、テレビの販売増による景気押し上げ効果も限定的となる見込み。

海外では汎用製品を、日本では高付加価値製品を生産するというすみ分けが進展したことから、国内供給のうち輸入の占める割合は90%を超える水準まで上昇。加えて、液晶パネルなど主要部品の海外生産も増加し、国内テレビメーカーが外国製部品に依存する面も。

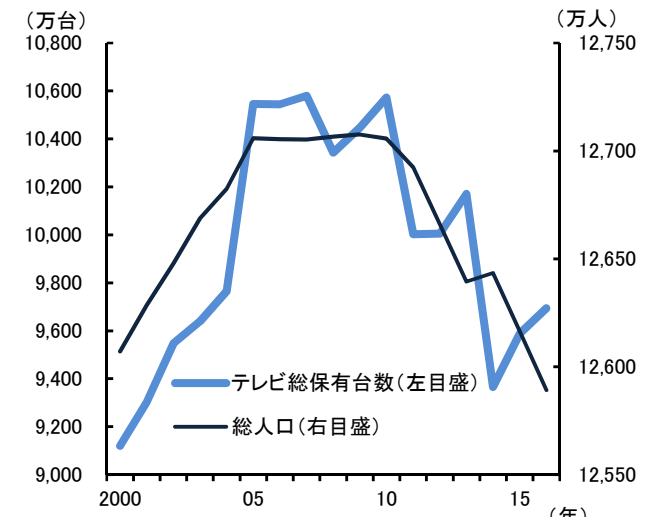
こうしたなか、今後の買い替え需要は海外からの調達で賄われる可能性大。それにより、個人消費の増加は輸入増加で相殺されるほか、国内への生産波及も限定的となる見通し。

テレビの国内出荷台数



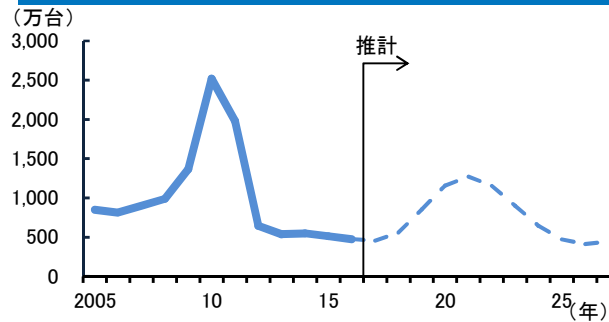
(資料) 電子情報技術産業協会

テレビ総保有台数と総人口



(資料) 内閣府、厚生労働省、総務省を基に日本総研作成

テレビ買い替え需要の将来推計

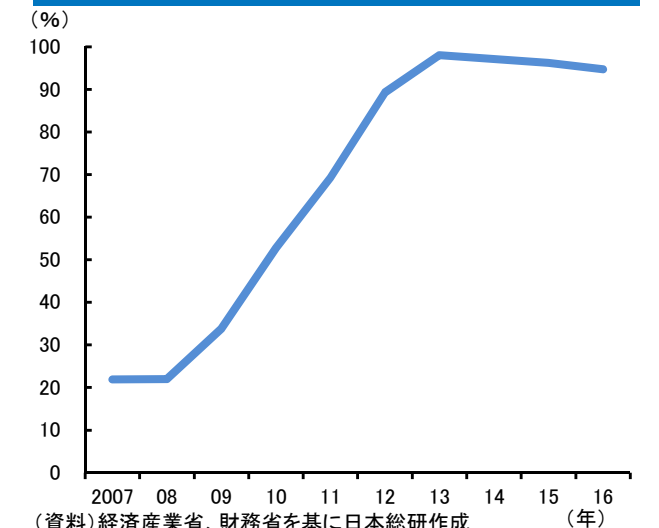


(資料) 電子情報技術産業協会、内閣府、厚生労働省、国立社会保障・人口問題研究所を基に日本総研作成

(注) 推計方法は以下の通り。

1. テレビの平均保有年数(10年)を中心とした買い替えの確率分布を仮定し、各年の買い替え台数を計算。
2. 単身世帯と二人以上世帯数の推計値と、世帯当たり保有台数に基づき、各年のテレビ総保有台数の減少分を推計。
3. 買い替え台数の試算値から、各年のテレビ総保有台数の減少分を引くことにより、買い替え需要を試算。

薄型テレビの輸入浸透度



(資料) 経済産業省、財務省を基に日本総研作成

(注) 輸入浸透度 = 輸入 ÷ 国内総供給

底堅い内外需を背景に、景気回復基調が続く見通し

◆2017年度は+1%台半ばのプラス成長

わが国景気の先行きを展望すると、経済対策効果の一巡などを背景に、成長ペースは減速する見込み。

もともと、①企業の在庫復元の動き、②都心部での再開発や宿泊施設の新設といった非製造業の建設投資、③製造業を中心とした研究開発投資、などが引き続き国内需要の下支えに作用。加えて、輸出も、世界的な設備投資の改善などを背景に、再び増加基調に復帰するとみられることから、景気回復基調は大きく崩れない見込み。2017年度の成長率は+1%台半ばと、高めのプラス成長に。

◆2018年度も景気回復基調が持続

2018年度に向けても、米国や中国を中心に海外経済の堅調が見込まれるなか、輸出は増加基調が続く見込み。国内需要も、人手不足が続くもとでの雇用所得環境の改善や、五輪関連の建設需要などを背景に底堅く推移するとみられることから、景気回復基調が続く見通し。

もともと、社会保険料負担や年金受給世帯の購買力低下などが重石となることで、個人消費の回復力は脆弱にとどまる見込み。景気に弾みがつき難い状況が続くなか、2018年度の成長率は、+1%程度に鈍化する見通し。

わが国主要経済指標の予測値(2017年10月3日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2016年	2017年				2018年				2019年	2016年度	2017年度	2018年度
	10~12 (実績)	1~3	4~6	7~9	10~12 (予測)	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	(実績)	(予測)	(実績)
実質GDP	1.6	1.2	2.5	1.2	0.9	0.8	1.0	1.3	1.3	1.2	1.3	1.5	1.1
個人消費	0.5	1.5	3.4	0.2	0.6	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	1.4	0.7
住宅投資	0.9	4.0	5.1	▲0.3	▲3.2	▲0.4	0.5	0.6	0.8	0.8	6.6	2.3	▲0.1
設備投資	8.1	2.1	2.1	1.8	2.4	2.8	3.0	3.0	2.9	2.9	2.5	2.6	2.8
在庫投資 (寄与度)	(▲0.7)	(▲0.6)	(▲0.1)	(0.8)	(0.6)	(▲0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(▲0.4)	(▲0.1)	(0.1)
政府消費	0.1	▲0.2	1.6	0.9	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	0.4	0.8	1.1
公共投資	▲9.2	1.5	26.1	4.3	▲5.1	▲3.5	▲2.8	2.0	1.2	▲1.2	▲3.2	4.9	▲1.2
純輸出 (寄与度)	(1.3)	(0.5)	(▲1.2)	(▲0.2)	(▲0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.8)	(▲0.0)	(0.1)
輸出	13.1	8.0	▲1.9	2.0	2.2	2.5	2.7	2.8	2.8	2.8	3.2	3.8	2.6
輸入	5.5	5.4	5.7	3.2	2.9	2.0	2.2	2.2	2.2	2.1	▲1.4	4.1	2.3

名目GDP	1.6	0.7	1.0	1.6	1.5	1.9	1.4	1.5	1.6	1.9	1.1	1.5	1.6
GDPデフレーター	▲0.1	▲0.8	▲0.4	▲0.0	▲0.0	0.6	0.4	0.5	0.5	0.6	▲0.2	0.0	0.5
消費者物価 (除く生鮮)	▲0.3	0.2	0.4	0.7	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.1	▲0.2	0.7	1.0
鉱工業生産	2.1	3.8	5.9	4.3	2.0	2.4	0.6	0.5	0.5	0.6	1.1	3.6	0.5

完全失業率 (%)	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	3.0	2.8	2.7
経常収支 (兆円)	4.09	5.97	4.54	5.67	3.76	6.50	5.30	6.81	4.43	7.12	20.38	20.48	23.65
対名目GDP比 (%)	2.9	4.4	3.4	4.3	2.6	4.8	3.9	5.0	3.1	5.1	3.8	3.8	4.3
円ドル相場 (円/ドル)	109	114	111	111	113	113	114	114	115	115	108	112	115
原油輸入価格 (ドル/バレル)	46	55	53	50	57	60	61	61	62	62	47	55	61

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを
基に日本総研作成

海外経済の前提

	(前年比、%)		
	2016年 (実績)	2017年 (予測)	2018年
米国	1.5	2.1	2.2
ユーロ圏	1.8	2.1	1.7
中国	6.7	6.8	6.4

過去の実質GDP予測値

	(前年比、%)		
	2016年度 (予測)	2017年度	2018年度
7月号	1.2	1.4	1.1
8月号	1.2	1.4	1.1
9月号	1.3	1.9	1.1

物価は上昇局面へ、長期金利はゼロ%近辺で推移

◆物価は上昇局面へ

コアCPIは、1月に前年比プラスに転じた後、プラス幅が拡大。耐久財や通信料などで下落が続くものの、エネルギー価格の上昇が全体を押し上げ。

今後は、マクロ的な需給環境の改善などを背景に、上昇ペースが高まっていく見通し。もっとも、賃金の伸びが緩やかにとどまるなか、コアCPIの騰勢は日銀の目標を下回るペースにとどまる見込み。

◆短期金利は現行水準を維持

日銀は、9月の金融政策決定会合で、現状の金融政策の維持を決定。10年物国債金利をゼロ%程度とする現行政策のもとで、影響・効果を見極める姿勢。

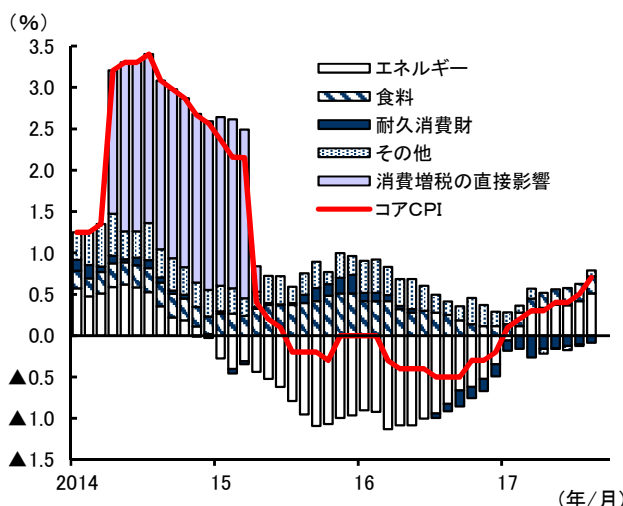
政策金利については、当面、現行水準(▲0.1%)を維持する見込み。

◆長期金利は概ねゼロ%程度で推移

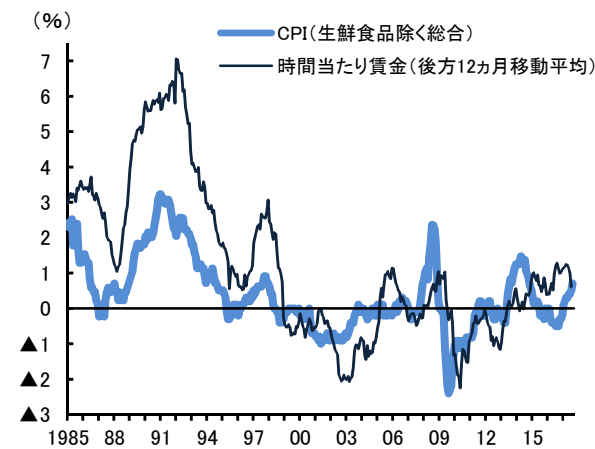
長期金利は、上旬までは北朝鮮情勢やトランプ政権の政策運営を巡る不透明感からリスク回避の動きが広がり、0%程度で推移。その後、不透明感が和らぐなか、やや上昇。

先行きを展望すると、米国長期金利の上昇に伴い上振れ圧力が高まるものの、日銀の物価目標の達成にはなお時間を要し、当面長期金利の誘導目標は据え置かれると予想されることから、0%近辺での推移が続く見通し。

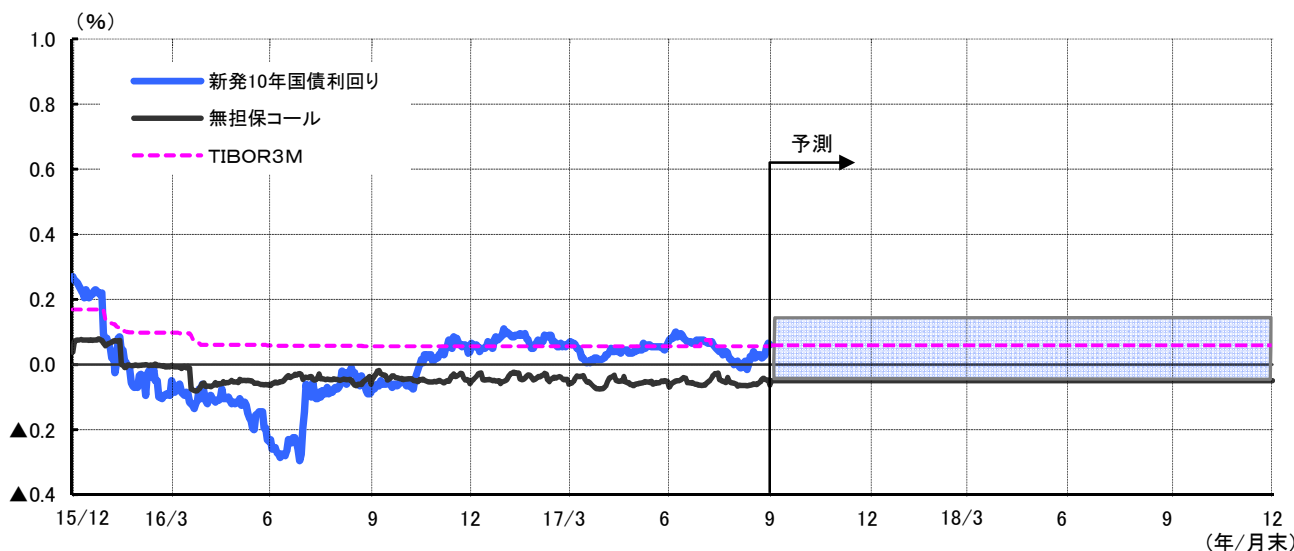
コアCPI(前年比)



CPIと時間当たり賃金(前年比)



わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利			ユーロ円 (TIBOR)			円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)			
14/2	0.09	0.22	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.60	1.48	1.22	102.12	139.59	14617.57	1200.83	0.07	0.24	2.70	15958.44	0.29	1.66			
14/3	0.08	0.21	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.62	1.48	1.20	102.36	141.52	14694.83	1190.57	0.08	0.23	2.72	16308.63	0.31	1.59			
14/4	0.08	0.21	0.31	0.19	0.33	0.79	0.09	0.62	1.48	1.20	102.51	141.58	14475.33	1171.18	0.09	0.23	2.69	16399.50	0.33	1.53			
14/5	0.09	0.21	0.30	0.19	0.32	0.77	0.09	0.60	1.48	1.20	101.84	139.85	14343.14	1174.62	0.09	0.23	2.55	16567.25	0.33	1.40			
14/6	0.08	0.21	0.30	0.18	0.29	0.74	0.09	0.59	1.48	1.20	102.06	138.81	15131.80	1246.22	0.10	0.23	2.59	16843.75	0.24	1.35			
14/7	0.08	0.21	0.30	0.17	0.26	0.68	0.07	0.55	1.48	1.17	101.75	137.74	15379.29	1275.72	0.09	0.23	2.53	16988.26	0.21	1.20			
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02			
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00			
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88			
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79			
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.12	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64			
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45			
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.12	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35			
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26			
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16			
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58			
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83			
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76			
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67			
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.12	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68			
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55			
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55			
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60			
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51			
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23			
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.97	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22			
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18			
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16			
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01			
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09			
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07			
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05			
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04			
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24			
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29			
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35			
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32			
17/3	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.10	0.26	▲ 0.26	0.07	1.48	0.95	112.92	120.67	19340.18	1552.10	0.79	1.13	2.48	20823.06	▲ 0.33	0.39			
17/4	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.07	0.23	▲ 0.21	0.03	1.48	0.95	110.04	117.93	18736.39	1494.81	0.90	1.16	2.29	20684.69	▲ 0.33	0.25			
17/5	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.08	0.24	▲ 0.17	0.04	1.48	0.95	112.24	124.09	19726.76	1571.62	0.91	1.19	2.30	20936.81	▲ 0.33	0.38			
17/6	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.10	0.24	▲ 0.12	0.06	1.48	0.95	110.97	124.70	20045.63	1603.77	1.04	1.26	2.18	21317.80	▲ 0.33	0.29			
17/7	▲ 0.05	0.06	0.10	0.05	0.12	0.27	▲ 0.11	0.08	1.48	0.99	112.38	129.59	20044.86	1620.17	1.15	1.31	2.31	21581.25	▲ 0.33	0.54			
17/8	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	109.84	129.81	19670.17	1612.95	1.16	1.31	2.20	21914.08	▲ 0.33	0.42			
17/9	▲ 0.06	0.06	0.10	0.02	0.08	0.22	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	110.81	131.93	19924.40	1638.79	1.16	1.32	2.20	22173.41	▲ 0.33	0.41			